【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年8月9日(2024.8.9)

【国際公開番号】WO2022/045309
【出願番号】特願2022-545743(P2022-545743)
【国際特許分類】
G01N 1/10(2006.01)
B65D 85/50(2006.01)
【FI】
G01N 1/10 N
G01N 1/10 V
B65D 85/50

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月1日(2024.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検体を保持した媒体が収容される媒体収容部と、該検体に含まれる被検査試料の分解を抑制する液状の分解抑制剤を含浸可能な剤保持体と、乾燥剤の収容部とを有し、
前記剤保持体に前記分解抑制剤を含浸させた状態下に、前記媒体を前記媒体収容部に配することによって、該媒体に前記分解抑制剤が移行するようになされており、且つ前記媒体を前記媒体収容部に収容した状態下に、前記乾燥剤が、前記剤保持体に直接接触することなく、前記分解抑制剤から放出される湿気を吸収可能になされている、検体保存具。
【請求項２】
キャップ部及び該キャップ部が装着される容器本体を有する容器と、該容器内に収容される内容器とを含み、
前記容器本体内に前記剤保持体が配されており、前記内容器は、前記乾燥剤の収容部を有する乾燥剤収容体を有しており、
前記内容器が前記容器本体内に収容され且つ前記キャップ部が該容器本体に装着された状態における前記乾燥剤収容体と前記剤保持体との間に前記媒体収容部が形成されるようになされており、
前記容器本体から前記キャップ部を取り外し、前記乾燥剤の収容部と前記剤保持体との間に前記媒体を配した後、該キャップ部を前記容器本体に装着することによって、該媒体が前記剤保持体に密着するようになされている、請求項１に記載の検体保存具。
【請求項３】
キャップ部及び該キャップ部が装着される容器本体を有する容器と、該容器内に収容される、乾燥剤収容体とを含み、
前記容器本体内に、検体に含まれる被検査試料の分解を抑制する液状の分解抑制剤を含浸可能な剤保持体が配され、前記乾燥剤収容体は、乾燥剤の収容部を有しており、
前記乾燥剤収容体が前記容器本体内に収容され且つ前記キャップ部が前記容器本体に装着された状態における前記乾燥剤収容体と前記剤保持体との間に、前記検体を保持可能な媒体が、前記剤保持体に密着した状態に配される、検体保存具。
【請求項４】
キャップ部及び該キャップ部が装着される容器本体を有する容器と、該容器内に収容され

る内容器とを含み、
前記容器本体内に、検体に含まれる被検査試料の分解を抑制する液状の分解抑制剤を含浸可能な剤保持体が配され、前記内容器は、乾燥剤の収容部を有する乾燥剤収容体を有しており、
前記内容器が前記容器本体内に収容され且つ前記キャップ部が該容器本体に装着された状態において、前記乾燥剤収容体と前記剤保持体との間に、前記検体を保持した媒体を収容可能な媒体収容部が形成され、前記キャップ部の天面部の裏面から前記容器本体の底部の上面までの距離が、前記内容器の高さと、外力が加わっていない状態の前記剤保持体の厚みとの合計値よりも小さい、検体保存具。

【請求項５】
前記内容器が前記容器本体内に収容され且つ前記キャップ部が該容器本体に装着された状態において、前記乾燥剤収容体の上端部と該キャップ部の天面部との間に隙間が形成されるようになされており、該隙間が、前記乾燥剤の収容部と前記剤保持体の収容部とを連通する連通路の一部を構成している、請求項２又は４に記載の検体保存具。

【請求項６】
前記キャップ部は、該キャップ部の天面部の裏面側にシール部材を有しており、
前記キャップ部が前記容器本体に装着された状態において、前記シール部材が該容器本体の上端部に当接し、該容器本体内の空間が密閉されるようになされている、請求項２、４又は５に記載の検体保存具。

【請求項７】
前記剤保持体を保持するキャップ部及び該キャップ部が装着される容器本体を有し、前記剤保持体が前記媒体収容部を備えている第１容器と、
前記キャップ部を装着可能な容器本体を有し、前記乾燥剤の収容部を内部に有する第２容器とを含む、請求項１に記載の検体保存具。

【請求項８】
第１容器の容器本体から取り外した前記キャップ部の前記媒体収容部に、前記検体を保持した前記媒体を保持させた後、該キャップ部を、第２容器の容器本体に装着可能になされている、請求項７に記載の検体保存具。

【請求項９】
第１容器は、前記分解抑制剤の貯留部と前記剤保持体とを有し、前記貯留部は、所定の操作をするまで、前記分解抑制剤と前記剤保持体とを分離した状態に維持可能である、請求項７又は８に記載の検体保存具。

【請求項１０】
前記剤保持体は、前記媒体収容部として、前記媒体を挿入して該媒体を保持させる媒体挿入部を備え、
前記媒体挿入部の両側それぞれにおいて前記剤保持体の外面側を覆う一対の外側支持部を備え、前記一対の外側支持部を手指間に挟んで押圧力を増減することにより、前記媒体挿入部に挿入された前記媒体に前記剤保持体を押し当てる圧力を増減可能になされている、請求項１及び７～９の何れか１項に記載の検体保存具。

【請求項１１】
キャップ部及び該キャップ部が装着される容器本体を有する容器を含み、
前記キャップ部に、前記乾燥剤の収容部を内部に有する乾燥剤収容体が付設され、前記容器本体内に前記剤保持体が配されており、前記キャップ部が前記容器本体に装着された状態における前記乾燥剤収容体と前記剤保持体との間が前記媒体収容部となっており、前記容器本体から前記キャップ部を取り外し、前記乾燥剤収容体に隣接させて前記媒体を配した後、該キャップ部を前記容器本体に装着することによって、該媒体が前記剤保持体に密着するようになされている、請求項１に記載の検体保存具。

【請求項１２】
前記乾燥剤収容体は、前記分解抑制剤を透過させない剤不透過性の材料からなり、前記媒体及び前記剤保持体と接触しない部位に、前記乾燥剤の収容部の内外を連通する通気孔

が形成されている、請求項１１に記載の検体保存具。
【請求項１３】
検体を保持可能な媒体を更に含む、請求項１～１２の何れか１項に記載の検体保存具。
【請求項１４】
検体に含まれる被検査試料の分解を抑制する液状の分解抑制剤を含浸した剤保持体が容器本体内に配され、前記容器本体にキャップ部が装着された容器と、
乾燥剤を収容した収容部を有する内容器と、
前記検体を保持した媒体とを準備し、
前記容器本体から前記キャップ部を取り外し、前記媒体が前記乾燥剤の収容部と前記剤保持体との間に配されるように、前記媒体及び前記内容器を前記容器本体内に収容し、
前記キャップ部を前記容器本体に装着することで、前記乾燥剤の収容部によって前記媒体を前記剤保持体に押し付ける、
検体の保存方法。